

大規模災害対策としての通信手段確保の考え方

1 既存の通信手段の状況確認と課題の抽出

- 固定電話、携帯電話、防災行政無線の利用方法の確認・検証
- 大規模災害時における被害想定とその対策の検討
- 大規模な被害が発生した際の電気通信事業者等との連携強化

2 今後、市が取り組むべき通信手段の確保策

- 防災行政無線の完全デジタル化(対策本部と地域との通信確保)
- 衛星携帯電話、MCA無線、簡易無線機の配備の検討(庁舎、支所、出張所及び避難所との通信確保)
- 災害用伝言ダイヤル等の安否確認サービス利用の周知・啓発
- アマチュア無線の活用検討及びJARL((社)アマチュア無線連盟)への協力依頼
- ホームページに加えSNSと連携した多様な情報発信の仕組みづくりの検討
- 携帯電話でのインターネット利活用の検討
- 停電時の電源確保のため非常用発電機に必要な燃料確保の優先化及び輸送手段の確保
- 住民情報の消滅を防止するためクラウドネットワークの活用によるデータ分散化の検討
- 避難所等重要地点における環境(設備設置場所、電源等)の充実